

共生社会ホストタウン追加登録団体の活動計画（2020年10月30日）

自治体名 (所在都道府県名)	相手国	活動計画
那須塩原市 (栃木県)	オーストリア	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <p>・2019年にはオーストリアパラ水泳選手と市内中学校との交流を行い、障害者スポーツの普及と多様性の理解を図った。2020年度は、オーストリアパラ水泳選手、パラ自転車選手と、市内の小中学校でオンライン交流を実施し、今後も継続的に実施する。大会後にはオーストリアパラ選手と事後交流を実施予定で、スポーツ体験会や交流会を通し、障害者スポーツの理解等を促進する。</p> <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <p>・海外パラアスリートの受け入れを契機に、障害を持つ方や高齢者の外国人旅行者でも安全に快適に過ごせるよう、観光関係者と協力した情報発信や、宿泊施設、観光施設等のバリアフリー化を推進する。那須塩原駅には新たなエレベーターを整備し、那須塩原市図書館ではスロープの整備や多目的トイレ等のバリアフリー化の整備を行った。</p> <p>【心のバリアフリー】</p> <p>・2019年度は市内の小中学校12校がパラアスリートとの交流を行い、2020年度は15校が、パラスポーツへの理解を深める教育に取り組んでいる。2020年2月には、市民を対象に地域共生社会のシンポジウムを開催した。同じく2020年2月には、廃校後の小学校で障害者アート展覧会を実施した。またタクシー会社を対象にユニバーサルタクシードライバー研修に取り組んでいる。</p>
三鷹市 (東京都)	チリ (パラアスリート、パラ卓球)	<p>【パラリンピアン等との交流】</p> <p>・2019年度に、主に小学生以上の親子を対象としたパラリンピアンによる講演、水泳教室を実施した。2020年度においてもチリへの応援メッセージや国歌斉唱の動画作成等を予定しており、インターネットによる交流促進を図っている。2021年の東京大会の事前キャンプを受け入れ予定で、競技体験等による選手と市民の触れ合い事業を行う予定である。</p> <p>【ユニバーサルデザインの街づくり】</p> <p>・三鷹市内のバリアフリーのまちづくりを推進するため、市民、学識経験者、公共交通事業者、障害者団体、高齢者団体等関係団体で構成された会議体「三鷹市バリアフリーのまちづくり推進協議会」を設立し、まち歩きなどを行い、課題・解決提案を図っている。上連雀分庁舎では駐車場近くにある視覚障害者誘導ブロックの安全確保、三鷹図書館本館では筆談対応案内表示の設置等を実施した。</p> <p>【心のバリアフリー】</p> <p>・市庁舎内、市政窓口の各課窓口筆談ボードを設置し、100人を超える講演会への手話通訳者の手配義務化等、障害のある方も行政手続きや文化・スポーツ活動に触れることができる環境を整えている。イベントにより、市民が障害者スポーツを体験する機会を創出し、広く障害者の理解の促進を図るとともに、市民会議等への障害者の参加や、障害者雇用を支援した障害者の活躍の場の拡充など、相互理解の充実を図っている。</p>